



目次

- 改訂情報
- 概要
 - BackwardSyncとは
 - 背景
 - 全体像
 - 構成要素
- アカウント同期
 - 設定を行う
 - エクスポートする
 - インポートする
- IM-共通マスタ同期
 - 設定を行う
 - エクスポートする
 - インポートする

変更年月日	変更内容
-------	------

2013-04-01	初版
------------	----

2014-12-01	第2版 下記を変更しました
------------	---------------

- 強調文字で記載していた参照先をリンクに変更

BackwardSyncとは

BackwardSyncとは、アカウント情報とIM-共通マスタのマスタ情報をintra-mart Accel Platform上で一元管理し、それを利用してiWP / iAF上で動作するアプリケーションを動作させたい時に利用します。

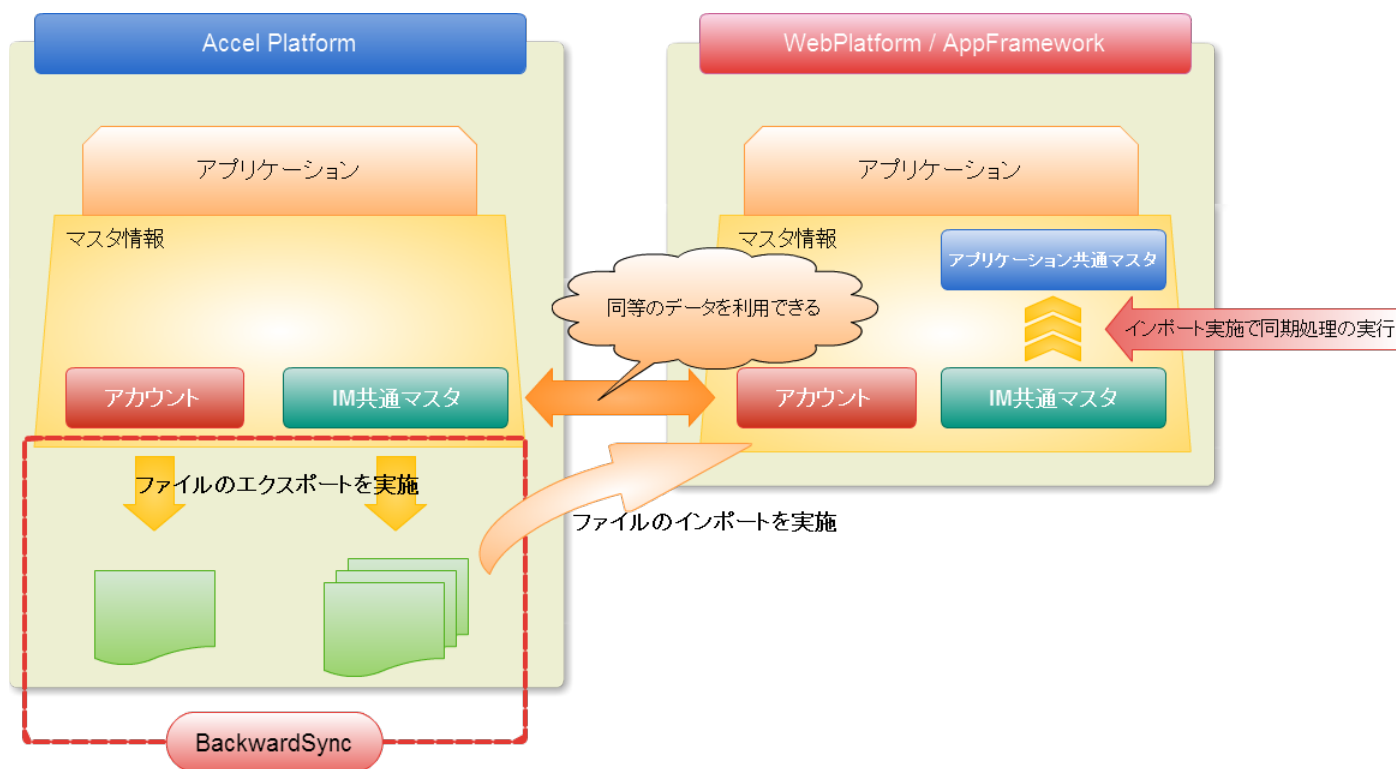
背景

intra-mart Accel Platformは旧バージョンからアーキテクチャ等大きな変更があるためにiWP / iAF上で独自開発やカスタマイズした機能等をそのままでは利用することができません。よって、過去に開発した資産をそのまま活用するにはiWP / iAFを利用する必要があります。

そこにある問題点として、ユーザ情報や会社・組織情報といったマスタ情報をそれぞれのプラットフォーム上で管理しなければならなくなりますが、その二重管理をさげintra-mart Accel Platform上で一元管理して、管理の煩雑さを解決するために用意された機能となります。

全体像

同期機能全体に BackwardSyncの全体像を示します。



構成要素

BackwardSyncは、以下の機能から構成されています。

機能	説明
アカウント同期	アカウントを対象とした処理を行います。
IM共通マスタ同期	IM共通マスタを対象とした処理を行います。

コラム

BackwardSyncが手作業を介さず同期を実施してくれるものではありません。フルオートで同期を行いたい場合は、別途この機能を活用したものを作成する必要があります。

目次

- 設定を行う
- エクスポートする
- インポートする

設定を行う

環境セットアップを行うと、アカウント同期を行うジョブが登録されています。ジョブには、アカウント同期の設定ファイルを実行パラメータより受け取るように設定されています。アカウントのデータをエクスポートする前に設定ファイルの編集を行います。

設定ファイルのパスを変更したい場合にはジョブの編集画面より実行パラメータの値を変更してください。

ジョブ管理

カテゴリ新規作成 ジョブ新規作成

ジョブ一覧

- v72マスタ同期
 - アカウント同期
 - IM共通マスタ同期
- IM-ContentsSearch クローラ
- intra-mart Accel Collaborator
- IMBox
- IM-FileExchange
- IM共通マスタ
- IM-Workflow
- テナントマスタ
- あああ
- ジョブ登録確認

ジョブ情報

基本情報

ジョブカテゴリ v72マスタ同期

ジョブID backward-sync-account-export

ジョブ名

日本語	アカウント同期
英語	Account synchronization
中国語	账户同步

ジョブの説明

実行時の情報

実行言語 Java

実行プログラム jp.co.intra_mart.system.account_backward_sync.job_scheduler.AccountBackwardSync

実行パラメータ

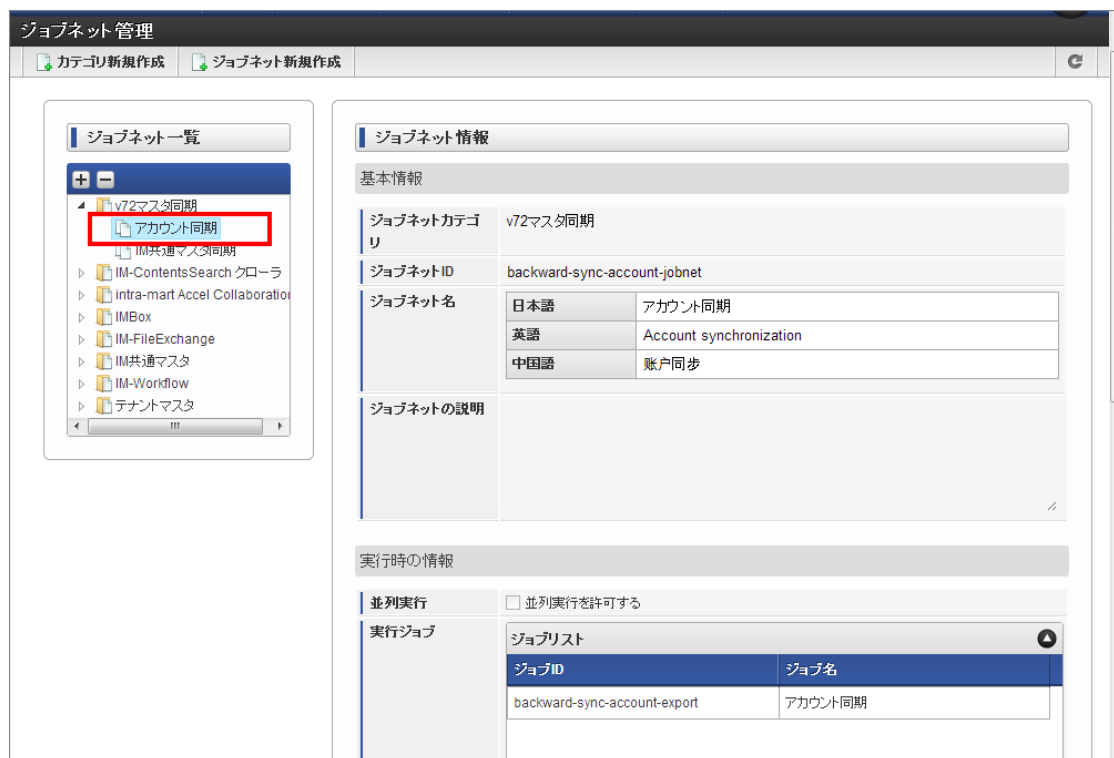
キー	値
EXPORT_CONFIG_FILE_PATH	backward_sync/account/config/account_backward_sync_config.xml

コラム

設定内容については「[BackwardSync\(version 7.2へのマスタ同期\)仕様書](#)」を参照してください。

エクスポートする

1. エクスポートは「ジョブ管理」-「ジョブネット管理」より実行します。
ジョブネット操作の詳細は「[テナント管理者操作ガイド](#)」-「[ジョブを設定する](#)」を参照してください。



2. 設定ファイルに指定した保存場所にエクスポートされます。

インポートする

1. 出力されたファイルをiWP / iAF グループ管理者画面の「ログイングループ管理」 - 「アクセスセキュリティ」 - 「インポート」のアカウントインポートで行います。



コラム

アカウントのインポートの詳細については「iWP / iAF Ver.7.2 アクセスセキュリティ仕様書」を参照してください。

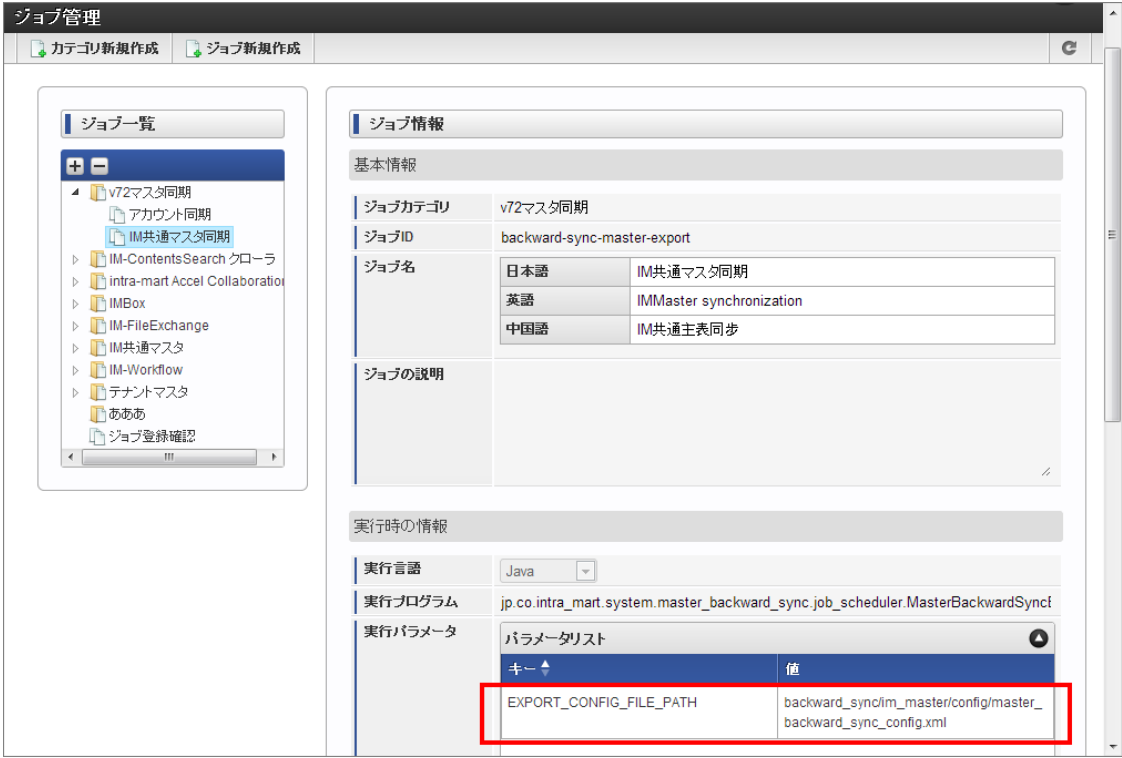
目次

- 設定を行う
- エクスポートする
- インポートする

設定を行う

環境セットアップを行うと、IM-共通マスタ同期を行うジョブが登録されています。ジョブには、IM-共通マスタ同期の設定ファイルを実行パラメータより受け取るように設定されています。IM-共通マスタのデータをエクスポートする前に設定ファイルの編集を行います。

設定ファイルのパスを変更したい場合にはジョブの編集画面より実行パラメータの値を変更してください。



The screenshot shows the 'Job Management' interface. On the left is a tree view of job categories, including 'v72マスタ同期' and 'IM-共通マスタ同期'. The main area displays 'Job Information' for a specific job. The 'Basic Information' section shows the job category as 'v72マスタ同期' and the job ID as 'backward-sync-master-export'. The 'Job Name' section is a table with three rows: Japanese ('IM共通マスタ同期'), English ('IMMaster synchronization'), and Chinese ('IM共通主表同步'). The 'Execution Information' section shows the execution language as 'Java' and the execution program as 'jp.co.intra_mart.system.master_backward_sync.job_scheduler.MasterBackwardSync'. The 'Execution Parameters' section contains a table with two columns: 'Key' and 'Value'. The row for 'EXPORT_CONFIG_FILE_PATH' is highlighted with a red box, showing the value 'backward_sync/im_master/config/master_backward_sync_config.xml'.

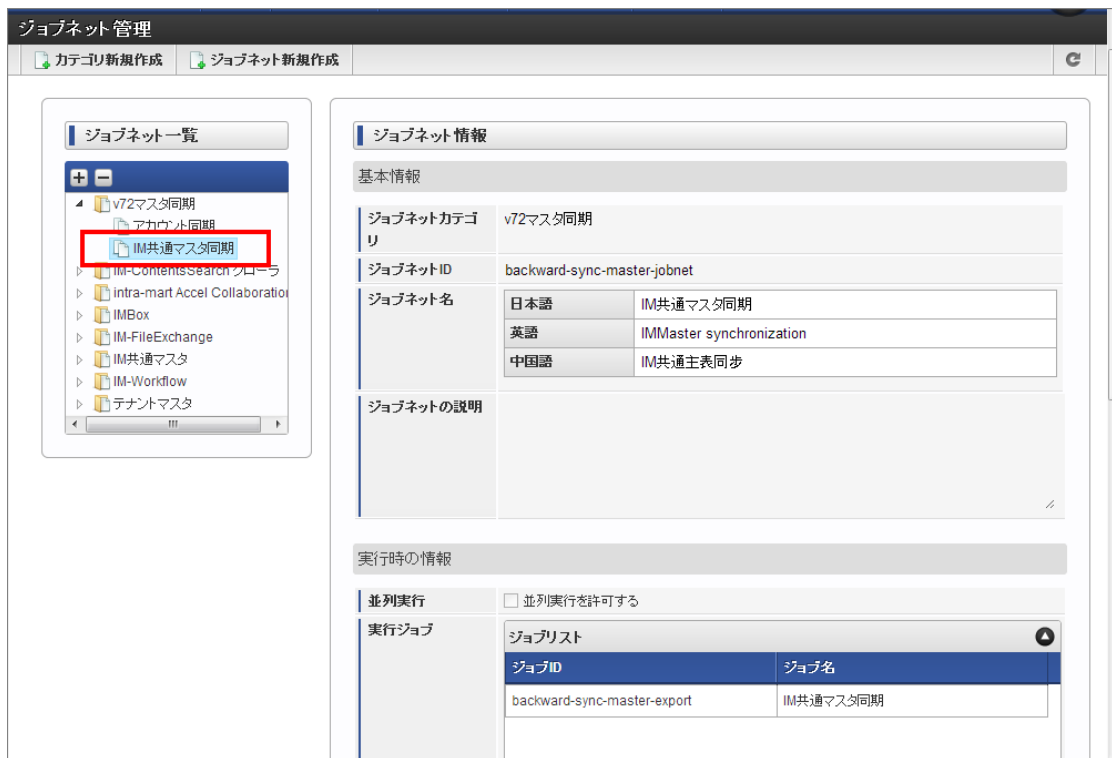
キー	値
EXPORT_CONFIG_FILE_PATH	backward_sync/im_master/config/master_backward_sync_config.xml

コラム

設定内容については「[BackwardSync\(version 7.2へのマスタ同期\)仕様書](#)」を参照してください。

エクスポートする

1. エクスポートは「ジョブ管理」-「ジョブネット管理」より実行します。
ジョブネット操作の詳細は「[テナント管理者操作ガイド](#)」-「[ジョブを設定する](#)」を参照してください。



2. 設定ファイルに指定した保存場所にエクスポートされます。

インポートする

1. 出力されたファイルをiWP / iAF グループ管理者画面の「ログイングループ管理」 - 「バッチ設定」にあるIM-共通マスタのインポートバッチで行います。



コラム

IM-共通マスタのインポートについては「iWP / iAF Ver.7.2 IM-共通マスタ インポート・エクスポート仕様書」を参照してください。